

書評

保井美樹編著

『孤立する都市、つながる街』

(日本経済新聞出版、2019年)

太田 和彦

本書は、特に2010年代以降の日本国内の都市コミュニティが取り組むべき社会課題や、その将来構想について、研究者、地方行政担当者、地域活動の実践者ら8人の著者が、それぞれの活動で得た知見を豊富な事例紹介とともに解説したものである。各章とも、都市生活において「玄関の内側で悩んでいるのは、必ずしも特別なケースを抱えている人ではない」(15頁)ことを出発点とし、「特に制度で支えられにくい社会的孤立がどこでどのように起きているのか、それに対する取り組みを知るとともに、都市における新しいつながりの創出プロセスとビジネス化、官民私連携による新しい公共を創出するための政策のあり方」(19頁)を探求の枠組みとしている。

「第Ⅰ部『孤立する都市』で何ができるのか」では、支援を必要とする様々な都市生活者に焦点があてられる。引きこもり、ヤングケアラー、少年院出院者らをはじめとする若年層の社会的孤立[1章・工藤]、保育施設と子どもと子育て家庭と地域住民をつなぐ仕組み作りの必要性[2章・三輪]、制度の狭間にある一人暮らしの高齢者や障害者の抱える問題[3章・勝部]などが、実際の専門機関や地域団体の連携による支援の事例とともに紹介されている。

「第Ⅱ部『つながり』を創出するために、何を考えるのか」では、都市内の様々なコミュニティが形成されてきた歴史的経緯と今後の展望に焦点があてられる。同質的な住民が共通する問題に取り組む閉じた共同体としての郊外ニュータウンから、多様なアイデンティティを持つ住民が様々な個別の問題に取り組む開かれたネットワークへ[4章・柴田]、地域の問題に対する当事者意識の希薄化から、(単なる出身地への愛着や地元意識とは異なる)シビックプライドの醸成へ[5章・江口]、特定の専門家だけが担うイノベーションから、多様な背景を持つ非専門家が対話と試行錯誤

を積み重ねて行うオープン・イノベーションへ[6章・西村]、そして、急速な人口減少、大都市圏への人口集中と地方の過疎化、社会保障費の増大による財政問題などの社会課題への取り組みを後押しする政策提案として、公設寄付金市場などが提案される[7章・小黑]。

最後に、「社会に向かう個人」「緩やかな紐帯」「官民私連携」「信頼巷間の仕組み作り」などのキーワードが提示され、分野やセクターを横断した対話と実践を促すための視点として、これらの対話と実践をコーディネートする地域の仕組みを作り、それらに取り組んでみようとする人材育成の必要性が指摘される[終章・保井]。

いずれの章も平易な文体でありながら、神奈川県横浜市の「まち保育」(2章)、大阪府豊中市の「豊中ライフセーフティネット」(3章)、福岡県宗像市の「CoCokaraひのさと」(4章)、鹿児島県長島町の「プリ奨学金」(5章)など、実践に裏打ちされた現代の都市コミュニティの様々な課題への取り組みが、社会的孤立とその解消を軸に整理されている。

2017年7月に実施された国立社会保障・人口問題研究所の全国調査報告書「生活と支え合いに関する調査」では、①社会的交流(会話の頻度、家族・親族・友人等との接触頻度)、②他人からの支援を受けること(病気や事故にまきこまれたときに頼れる人の有無)、③他人への支援を与えること(困っているときに自分が手助けする相手の有無)、④社会活動への参加状況を指標として、日本の社会的孤立の概況をまとめている。それぞれの要素は複合して出現することがあり5.1%がいずれかの類型に該当している。会話頻度が「2週間に1回以下」の割合が高いのは65歳以上の単身男性で15.0%、続く65歳未満の単身男性は8.4%、低所得者ほど社会的孤立に陥る傾向もあり、単身者の増加がさらに社会的孤立の度合を深めていくことが予測される⁽¹⁾。しかし本書がくり返し示唆するように、マクロな視点でのみ状況を捉えていては対処を見誤る。困っている人の来歴も、その困り方も、あたかも一元化できるように扱うべきではないという本書の指針は、人々の交流を機能として担う都市という場所でのコミュニ

ティ作りにおいて特に考慮すべき点といえるだろう。

注

- (1) 国立社会保障・人口問題研究所 (2018) 「生活と支え合いに関する調査」 <https://www.ipss.go.jp/ss-seikatsu/j/2017/seikatsu2017.asp> (最終閲覧：2022.3.18) でその他の結果を閲覧できる。また概要については以下の報告を参照。泉田信行。(2018)。日本の社会構造の変化と「家族・地域の支え合い」。国立社会保障・人口問題研究所 <https://fpcj.jp/wp/wp-content/uploads/2018/09/a1b488733565199b8c9c8f9ac437b042.pdf> (最終閲覧：2022.3.18)